

平和への思いを未来へ

沖縄市民平和の日をご存じですか？

1945(昭和20)年9月7日、旧越來村森根(現在の嘉手納飛行場沖縄市域)において、米軍と南西諸島の日本軍との間で降伏調印式が行われ、悲惨な沖縄戦が公式に終結しました。沖縄市では、この9月7日を「沖縄市民平和の日」と条例で定め、平和に関する様々な事業を実施しています。

毎年、9月7日に記念行事を開催するほか、8月1日から9月7日までを平和月間として定め、「市民の眼・平和写真展」や平和学習会をはじめ、平和学習会、パネル展等のプログラムを展開しています。

戦争を知らない世代が増える中、戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さを学び、平和な21世紀を創造する人材育成を目的に、平成3年度から「平和大使研修」を実施しています。

平和大使研修

令和4年度は、市内各中学校より推薦を受けた17名の中学生大使と、公募により選ばれた3名の社会人大使を認定しました。

研修では、沖縄戦や戦後の沖縄についての座学のほか、資料館見学、フィールドワーク、平和交流会を実施しました。県外研修では、福岡と長崎へ派遣し、特攻隊や原爆の恐ろしさについて学びました。

これまでに認定した550名の平和大使が、平和への思いを未来へ受け継ぐ役割を担っています。



▲千代田区平和使節団との交流

感想



宮里中
喜瀬朝日さん

旧海軍司令部壕に入る迫体験を通して、「戦争は自由を奪う」という意味が分かったような気がします。これから、平和な世の中に向かう姿勢を支えるためにも、学び、考えて、どんどん「平和」についての考えを深めていきます。



▲長崎市の平和公園にて



▲一中学徒隊資料展示室で学ぶ



沖縄市民平和の日の9月7日に「沖縄市 Peace Project」を開催し、YouTubeでLIVE配信を行いました。

第1部「平和大使による発信」では、平和大使の活動紹介やインタビューが行われ、社会人大使の兼島祐賀子さんは「学校等の平和学習で、平和について学んだことを伝えたい」と今後の目標を語りました。

第2部「HEIWA café」では、MCの宮島真一さんが、琉球・沖縄の文化を発信している賀数仁然さん、映画監督の平一紘さん、テレビやラジオ番組のMCとして活躍中の真栄平仁さん、沖縄民謡歌手の上間綾乃さんをゲストに迎えたトークセッションが行われ、それぞれの視点から平和への思いが語られました。

見逃し配信は11月30日まで

